

# iPad授業ガイド



中学校1年 国語



# はじめに

## このガイドについて

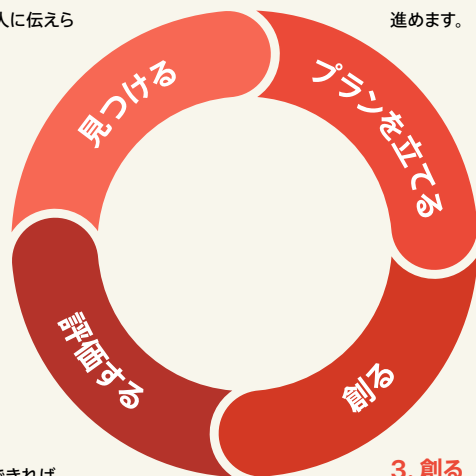
このガイドは、学習指導要領において重要視されている主体的・対話的で深い学びを、iPadを使って実現するための指針となるものです。それぞれの学年の教科ごとに3つの単元をピックアップし、毎日の授業に簡単に取り入れられるアイデアを紹介しています。各単元は、下記のデザインプロセスにもとづいて設計されています。このプロセスに沿って授業を進めることで、生徒たちは学習内容を身の回りのものと結びつけて考え、表現することを通して、知識を定着させていくことができます。

### 1. 見つける

体験活動などを通して、課題意識を持った教科内容について、生徒が自ら情報を集め、言葉や写真、ビデオなどを使って整理することで、気づいたことを周りの人に伝えられるようにします。

### 2. プランを立てる

収集した情報を比較したり、分析したりしながら、周りの人の見解や新たな発見を通して整理し、伝える内容をより充実させる計画を立て、準備を進めます。



### 4. 評価する

自分らしく学ぶことができれば、生徒たちはもっとスキルを高めて様々な方法で表現したいと思うようになります。他者評価や振り返りを通して学んだことを言語化し、応用できるように概念化して、次の学びにつなげます。

### 3. 創る

スケッチや音楽、ビデオやプレゼンテーションなどの創作活動を通して、学んだことを自分の強みと結びつけ、理解した内容を目に見える形で表現します。

## 情報活用能力について

情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、教科横断的な視点での育成が求められています。このガイドで紹介するアイデアを授業に取り入れれば、情報活用能力を自然かつ効果的に身につけていくことにつながり、そこで獲得したスキルはほかの教科においても簡単に応用することができます。[文部科学省作成の情報活用能力の体系表\(16ページ以降\)](#)は、この能力を段階的、体系的に育成するため、具体的な内容を資質・能力の3つの柱に沿った、5つのステップに分けて提示しています。中学校向けのガイドでは、ステップ4に相当するスキルを養えるよう、この体系表を参考にアイデアを紹介しています。ぜひこれらの情報を新しい授業作りやカリキュラム・マネジメントに役立ててください。

## 形成的評価のためのルーブリック

資質・能力の3つの柱をバランス良く伸ばしているか、また、教師のみなさんの「ねがい」や「ねらい」が実現されているかを確認する助けとなるよう、各単元の活動内容に合わせたルーブリックを用意しました。項目ごとに複数の評価基準を提供しているので、その中から、教師のみなさんが注目し、成長を見取っていきたい内容を選んで記録することができます。単元を左記のデザインプロセスに沿って評価し記録することで、テストだけでは測りきれない学習効果を可視化したり、生徒の振り返りに活用したりすることもできます。

[ルーブリックをダウンロードする](#) 

## 実践的な学びを促すワークシート

教師のみなさんが授業をスムーズに進められるように、各単元の活動内容に合わせたワークシートを用意しました。PDF内のリンクからダウンロードしたワークシートをAirDropや、授業支援ツールのスクールワーク、クラスルームなどで配布すれば、生徒はファイルを開いて「編集」をタップするだけですぐに課題に取り組むことができます。

# 学習内容の概要

## 単元

### 効果的に伝わるスピーチ

自分の「好き」を集め、ほかの人に伝えるように構成を考えてスピーチします。この活動を通して、話を構成する力や、自分の言葉で発信する力を養います。iPadでスピーチを撮影し編集する活動を加えることで、より深くその構成や成果を分析することができます。

### 根拠にもとづくレポートの作成

自分たちで決めたテーマについて仮説を立て、データを集めて視覚化し、レポートにまとめます。試行錯誤しながら伝え方を工夫する中で、論理的に説明する力や批判的に思考する力を身につけることができます。

### 多様な表現技法

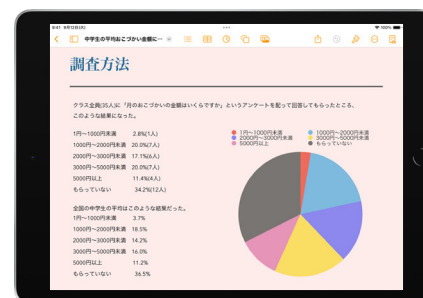
iPadを使って、自分のクラスを表現するオリジナルの比喻表現を考え、それをういたデジタルポスターを作ります。比喻表現の効果を味わいながら、自分だけの表現を見つけます。

## 活動内容

- ①自分の「好き」を集めてみよう
- ②スピーチの構成を考えよう
- ③スピーチコンテストをしよう
- ④ビデオを見てスピーチを評価し合おう



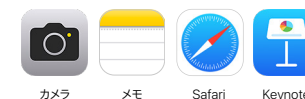
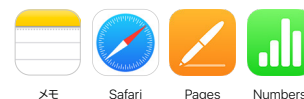
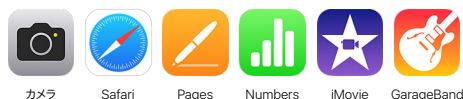
- ①仮説を立てて、根拠を集めよう
- ②調査項目を決め、調査しよう
- ③レポートをまとめて冊子を作ろう
- ④冊子を読んでもらおう



- ①身近な比喻表現に触れてみよう
- ②比喻でクラスメートの長所を表現しよう
- ③クラスのデジタルポスターを作ろう
- ④クラスメートの作品をお互いに鑑賞しよう



## 使用するアプリ



# 効果的に伝わるスピーチ

自分の「好き」を集め、ほかの人に伝えるように構成を考えてスピーチします。この活動を通して、話を構成する力や、自分の言葉で発信する力を養います。iPadでスピーチを撮影し編集する活動を加えることで、より深くその構成や成果を分析することができます。

1	見つける	第1時 話題を集め、素材を選ぶ	◀ 活動アイデア 1 5ページ 自分の「好き」を集めてみよう
2	プランを立てる	第2時 話の構成を考える	◀ 活動アイデア 2 5ページ スピーチの構成を考えよう
3		第3時 スピーチの練習をする	
4	創る	第4時 スピーチのイベントを開く	◀ 活動アイデア 3 6ページ スピーチコンテストをしよう
5	評価する	第5時 学習したことを振り返る	◀ 活動アイデア 4 6ページ ビデオを見てスピーチを評価し合おう

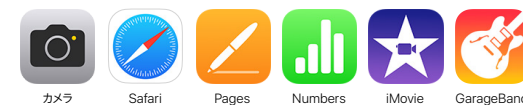
## 学習目標

自分の「好き」を紹介するスピーチを通して、話を構成する力、自分の伝えたいことを分析し言葉で発信する力を養う。

## 身につく力

話を構成する能力。内容が相手に効果的に伝わるよう工夫する力。自分自身の個性を発見し、分析して整理する力。

## 使用するアプリ



## 評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) ⬇

\*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

iPad授業ガイドの詳しい使い方は  
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。  
「[使ってみよう iPad授業ガイド](#)」をダウンロードする ⬇

# 効果的に伝わるスピーチ

## ① 見つける 活動アイデア 1 自分の「好き」を集めてみよう

- ① カメラアプリを使って、自分の身近にある好きなものや好きなことをたくさん撮影してみます。iPadで写真やビデオを撮影することで、身近にある自分の「好き」を手軽に集めることができます。身近にないものは、Safariで画像検索し、スクリーンショットを撮ります。
- ② Numbersの表に、①で撮影した写真やスクリーンショットを並べます。その下に、好きな理由と、好きなものと自分との関係を書きます。
- ③ Numbersをほかの生徒に見せながら、みんなが楽しめるような素材を選びます。ほかの人の意見を聞くことで、他者の視点を理解しやすくなります。また、スクリーンショットやSafariで検索して見つけた画像を使用する際には、著作権に注意する必要があります。検索する時は著作権フリーなどの条件を設定したり、引用する時には出典元を明記したりするなど、情報モラルについて生徒がきちんと理解していることが大切です。

### 💡 iPad活用のヒント

写真に効果を加えてみましょう。画面右上の「編集」> ④ の順にタップし、スライダをドラッグして明るさやコントラストを調整してください。④の下に並ぶアイコンを選べば彩度やシャープネスなどさらに細かく調整できます。写真をタップすると、写真をオリジナルと調整後に切り替えて見比べることができます。

### 活用できるアプリ

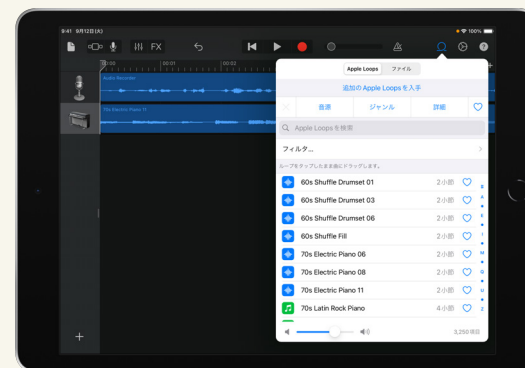


### 情報活用能力

意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係(ステップ4)  
情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする(ステップ4)

## ② プランを立てる 活動アイデア 2 スピーチの構成を考えよう

- ① 何が好きか、好きな理由、好きなものと自分との関係など、スピーチで伝えたい内容をまとめます。何をどのように紹介すれば、自分の「好き」が伝わるかをイメージしながら、1分間で話せるようスピーチの構成を考えて、内容をPagesに書き出します。
- ② GarageBandのApple Loopsでスピーチの内容に合ったループを用意し、それに合わせてスピーチすると、話す練習がしやすくなります。
- ③ 内容が1分間に収まっているか、話すスピードは適切かを確認しながら、何度か録音するなどしてスピーチを練習します。



### 活用できるアプリ



### 情報活用能力

情報を伝えるメディアの種類及び特徴(ステップ4)  
安全・適切なプログラムによる表現・発信の方法(ステップ4)

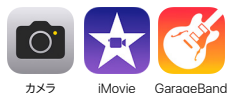
# 効果的に伝わるスピーチ

## 創る 活動アイデア 3 スピーチコンテストをしよう

- ① 活動アイデア2で作ったスピーチを数人のグループで聞きます。グループで1人代表を決めて、ほかの生徒の前に立ち、スピーチします。活動アイデア2で意識した話すスピードや声の大きさをイメージできるように、最初だけGarageBandの音を流します。音を消してから、そのあとは聞き手に向けてスピーチします。
- ② グループの代表者がスピーチしている様子を、グループのほかの生徒たちが複数の角度から撮影します。
- ③ 撮影したビデオを使って、iMovieで代表の生徒のスピーチビデオを作ります。場面ごとに、その生徒のスピーチの良いところを捉えたカットを選びながら編集します。



### 活用できるアプリ



中学校1年 | 国語

### 情報活用能力

目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作(ステップ4)  
情報を統合して表現する方法(ステップ4)

## さらに学びを深める 伝え方を工夫しよう

- グループの代表者の原稿を、グループのほかの生徒が読み上げることで、話し方を工夫するための参考にすることができます。
- iPadをスピーチする生徒の前に置き、Pagesの発表者モードでプロンプターとして使用すると、前を向いてほかの生徒の反応を見ながら話すことができます。
- グループの代表者がスピーチしやすいように、グループのほかの生徒たちは会場の席の配置や発表者の紹介などを工夫しましょう。
- 複数の角度から撮影する際、どのiPadからも秒針のある時計が映るようにすると、ビデオが編集しやすくなります。
- ウェブサイトで見ることができるプレゼンテーションビデオなどをお手本として視聴し、自分のプレゼンテーションに活かしましょう。

## 評価する 活動アイデア 4 ビデオを見てスピーチを評価し合おう

ほかのグループが作成したスピーチビデオをお互いに視聴します。そのあと、それぞれのグループの代表者のスピーチで良かったところを話し合います。スピーチには、内容だけでなく、話の構成や聞き手の反応を踏まえた声の大きさ、話す速さ、表情、ジェスチャーなど、様々な要素があります。特に優れていた点や今後のスピーチに活かせる点など、気づいたことを自分の言葉でまとめます。

# 根拠にもとづくレポートの作成

自分たちで決めたテーマについて仮説を立て、データを集めて視覚化し、レポートにまとめます。  
試行錯誤しながら伝え方を工夫する中で、論理的に説明する力や批判的に思考する力を身につけることができます。

1	見つける	第1時 課題を決めて、調査をする	◀ 活動アイデア 1 8ページ 仮説を立てて、根拠を集めよう
2	プランを立てる	第2～3時 調査結果を考慮して、構成を考える	◀ 活動アイデア 2 8ページ 調査項目を決め、調査しよう
3			
4	創る	第4時 図表などを盛り込んで、 レポートを作る	◀ 活動アイデア 3 9ページ レポートをまとめて冊子を作ろう
5	評価する	第5時 レポートを読んで、評価し合う	◀ 活動アイデア 4 9ページ 冊子を読んでもらおう

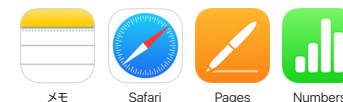
## 学習目標

根拠となるデータを引用しながら、レポートを作成し発表する活動を通して、分析力、論理的思考力、説明力、レポート作成能力を養う。

## 身につく力

情報整理に対する理解を深め、それらを使う力。根拠を明確にし  
ながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する力。事実や  
それをもとに考えたことを書く力。

## 使用するアプリ



## 評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習  
目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) Ⓣ

\*活動アイデア1～4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

iPad授業ガイドの詳しい使い方は  
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。  
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする Ⓣ



# 根拠にもとづくレポートの作成

## ① 見つける 活動アイデア1 仮説を立てて、根拠を集めよう

- ① 中学生の興味やライフスタイルを取り上げている冊子にレポートを掲載するとしたら、自分ならどのようなテーマについて書きたいかを考えます。Safariで検索したり、思いついたことをメモアプリに書き出したりしながら、興味があるテーマを探し、テーマに関する仮説を立ててみます。
- ② 近いテーマを挙げた生徒で数人のグループを作り、その仮説を裏付けるデータがあるか、さらに検索します。グループで検索をすることで、様々な意見を出し合えるほか、根拠となるデータが信頼の置けるものかどうか、複数の人の視点で検討することができます。

### 💡 iPad活用のヒント

メモをフォルダで整理してみましょう。メモリストの中の整理したいメモを長押しして「移動」をタップします。既存のフォルダを移動先に選択するか、「新規フォルダ」をタップして新しいフォルダを作成すれば、その中に移動することもできます。

## 活用できるアプリ



メモ Safari

## 情報活用能力

情報の流通についての特徴(ステップ4)  
情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法(ステップ4)  
比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方(ステップ4)

## ② プランを立てる 活動アイデア2 調査項目を決め、調査しよう

- ① 活動アイデア1で見つけたテーマに沿って、グループで調査項目を決定します。Numbersのフォームを使ってクラス全員にアンケート調査を行います。このアンケートの結果をもとに、生徒は一人ひとり個別にレポートを作成します。
- ② アンケートの結果が出たら、各自でレポートを書くための準備をします。Numbers上でグラフにする、スケッチでわかりやすく描くなど、様々な方法で調査結果を視覚化し、調査結果からどのようなことを導き出せるかを考えます。
- ③ 活動アイデア1で集めた資料と調査結果を組み合わせ、レポートの構成を考えます。仮説、調査結果、考察として示すべき内容を検討します。ワークシートをダウンロードして配布しておく、生徒たちはレポートの構成案の作成をスムーズに進めることができます。

「調査結果のまとめ」のワークシートをダウンロードする ↓



## 活用できるアプリ



Numbers

## 情報活用能力

目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作(ステップ4)  
意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係(ステップ4)



# 根拠にもとづくレポートの作成

## 創る 活動アイデア 3 レポートをまとめて冊子を作ろう

- ① 活動アイデア2で使用したワークシートをもとに各自でレポートを作成します。Pagesのテンプレートを活用してレポートを雑誌の記事のようにまとめます。重要なデータに注目してもらえるよう、レイアウトを工夫します。レポートの内容が伝わりやすいタイトルもあわせて考えます。
- ② レポートが完成したら、今度はグループ内でレポートを読み合います。スマート注釈やコメントなどを活用し、読み手の立場から、読みやすい文章になっているかななどをお互いに確認し、必要であれば修正します。
- ③ 全員のレポートをグループで冊子にまとめ、目次と表紙をつけて、EPUB形式で書き出します。



### 活用できるアプリ



Pages

中学校1年 | 国語

### 情報活用能力

情報を統合して表現する方法(ステップ4)

目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する(ステップ4)

## さらに学びを深める より伝わりやすいレポートにしよう

- 活動ごとに、積極的にほかの生徒の意見を聞く時間を作りましょう。
- iPadの読み上げを使うことで、客観的に自分の文章を確認できます。
- 見開き2ページの場合、どのようなレイアウトの工夫ができるかを考えてみましょう。
- 同じテーマで結論の違う生徒がいたら、それぞれの考察のうち、どちらにより説得力があるかをクラスで話し合ってみよう。
- 活用アイデア3で作ったレポート冊子にビデオや音声ファイル、イメージギャラリーを加え、冊子をマルチメディア化してみましょう。

## 評価する 活動アイデア 4 冊子を読んでもらおう

冊子を教師のみなさんに読んでもらい、コメントを書いてもらいます。生徒はコメントを見ながら自分の考えが正しく伝えられたかどうかを確認します。また、コメントを書いた教師のみなさんにインタビューを行い、その内容をレポートにつけ加えることもできます。根拠となるデータを引用しながらレポートを作成し、発表する活動を通して、気づいたことを自分の言葉でまとめます。さらに、教師のみなさんに良い内容の冊子を選んで投票してもらい、客観的な評価を得るのもよいでしょう。

# 多様な表現技法

iPadを使って、自分のクラスを表現するオリジナルの比喻表現を考え、それを用いたデジタルポスターを作ります。  
比喻表現の効果を味わいながら、自分だけの表現を見つけます。

1	見つける	第1時 言葉の並べ方の工夫によるリズムの違いや効果を知る	◀ 活動アイデア 1 11ページ 身近な比喻表現に触れてみよう
2	立てる プランを	第2時 比喻の種類による印象の違いを考える	◀ 活動アイデア 2 11ページ 比喻でクラスメートの長所を表現しよう
3	創る	第3時 比喻表現を生活に活かす	◀ 活動アイデア 3 12ページ クラスのデジタルポスターを作ろう
4	評価する	第4時 学習したことを振り返る	◀ 活動アイデア 4 12ページ クラスメートの作品をお互いに鑑賞しよう

## 学習目標

物事を丁寧に観察することで、独自の比喻表現を生み出し、その表現を用いてデジタルポスターを作成する活動を通して、表現技法(特に比喻表現)の効果を味わい、理解する。

## 身につく力

様々な表現技法に対する理解力。比喻などの表現技法を日常生活で使うための応用力。

## 使用するアプリ



## 評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

[ルーブリックをダウンロードする](#) (ダウンロードアイコン)

\*活動アイデア1~4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

iPad授業ガイドの詳しい使い方は  
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。  
「[使ってみよう iPad授業ガイド](#)」をダウンロードする (ダウンロードアイコン)

# 多様な表現技法

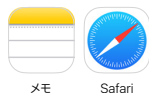
## 見つける 活動アイデア 1 身近な比喩表現に触れてみよう

- ① 好きな音楽や本、漫画、テレビ番組などから、比喩表現を見つけます。普段接しているものでも、比喩表現を意識することで身近に多くの比喩表現が使われていることに気がつくことができます。
- ② 見つけた様々な比喩表現を、直喩、暗喩、擬人法に分類し、メモアプリにまとめます。

### 💡 iPad活用のヒント

メモに写真やビデオを追加してみましょう。画面右上の📷をタップし、「写真またはビデオを撮る」を選択するとカメラアプリが起動するのでそのまま撮影できます。「写真またはビデオを選択」をタップして、撮影済みの写真やビデオを追加することもできます。

#### 活用できるアプリ



中学校1年 | 国語

#### 情報活用能力

目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作(ステップ4)  
比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方(ステップ4)

## プランを立てる 活動アイデア 2 比喩でクラスメートの長所を表現しよう

- ① 3人のグループを作ります。その上で、自分以外の2名の生徒の強みや良いところを比喩で表現してみます。直喩、暗喩それぞれの表現で考えてみます。
- ② その比喩表現にふさわしい場面をカメラアプリで撮影したり、Safariで画像検索してスクリーンショットを撮ったりします。撮った写真にエフェクトをつけたり、Keynoteでアニメーションをつけたりしながら、比喩表現を可視化してみます。場面の撮影時にグループ以外の誰かが写真に写り込む場合は、肖像権に配慮する必要があります。また、ウェブサイトなどの画像を使用する際は著作権に注意することも大切です。
- ③ お互いが作った比喩表現を紹介します。その比喩表現を思いついた背景もあわせて説明し、フィードバックし合います。



#### 活用できるアプリ



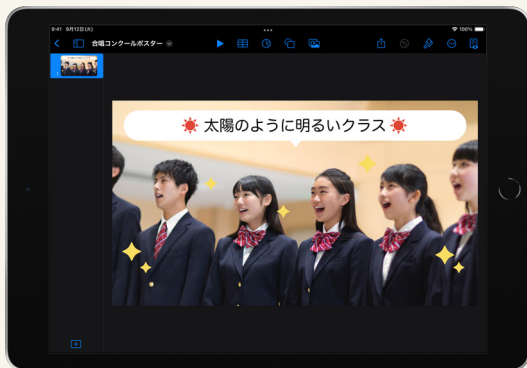
#### 情報活用能力

事象を情報とその結び付きの視点から捉えようとする(ステップ4)  
情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする(ステップ4)

# 多様な表現技法

## 創る 活動アイデア 3 クラスのデジタルポスターを作ろう

- ① 体育祭、合唱コンクール、文化祭などの学校行事に向けて、クラスの強みや良いところを比喻で表現したデジタルポスターを、生徒一人ひとりが作ります。思いついたアイデアをいくつかメモアプリに書き出し、クラスの強みや良いところを最も表しているものを1つ選びます。
- ② 考えた比喻表現を用いた言葉をKeynoteで編集します。フォントを変えたり、アニメーションをつけたり、画像を加えたりしながら、デジタルポスターを作ります。その後、完成したデジタルポスターをほかの生徒の前で発表します。



### 活用できるアプリ



### 情報活用能力

情報を統合して表現する方法(ステップ4)  
条件を踏まえて情報及び情報技術の活用の計画を立て、試行しようとする(ステップ4)

## さらに学びを深める 国語の表現技法をより深く理解しよう

- GarageBandのLive Loops\*1で、デジタルポスターの表現効果を高めるBGMを作曲し、音声ファイルを追加してみましょう。
- 作品を作りながら、より良い表現を思いついたら別の比喻表現に変えてもよいでしょう。視覚による表現と、言葉による表現を行き来しながら、より伝わりやすいデジタルポスターにします。
- デジタルポスターに掲載した言葉の前後につながる文章を考えます。なぜこの表現がクラスを的確に捉えているか、どのようなクラスを目指していきたいか、クラス全体でどのような行動をしてほしいかを、短くわかりやすく表現してみます。
- 自分たちの作ったデジタルポスターを順に並べ、ムービーで書き出し、上映してみましょう。
- 何人かの生徒の作品をもとに、学校行事を盛り上げる方法を考えます。衣装の色や身につけるものなどを、作品に使われた比喻表現に合わせて用意し、クラスの一体感を作り上げましょう。言葉の表現がクラス全体の協調のきっかけになることを理解します。

\*1) Everyone Can Create : 音楽「Live Loops」 54ページ

## 評価する 活動アイデア 4 クラスメートの作品をお互いに鑑賞しよう

活動アイデア3で作ったデジタルポスターをクラス全体で共有し、お互いに鑑賞します。同じ比喻による表現でも、フォントの選び方や、アニメーションのつけ方などでどのように印象が異なるかを比較し、気づいたことを自分の言葉でまとめます。また、ほかの生徒の作品を見て、自分が作るとしたらどのような作品にするかを考えてみます。

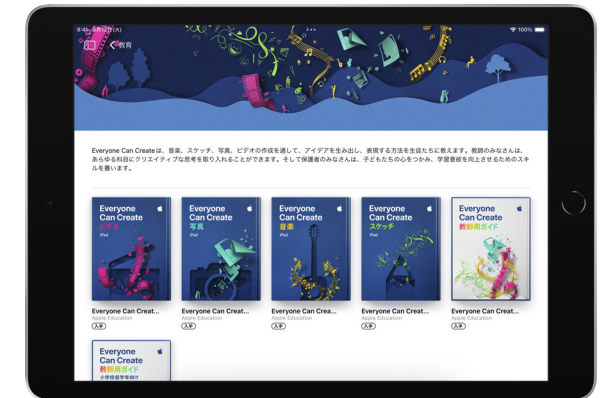
# Appleのリソースについてもっと知る

Appleは教師のみなさんをサポートするために、様々な無料のリソースを提供しています。このガイドも、Everyone Can CreateおよびApple Teacherという2つのプログラムで紹介されている授業のアイデアやスキルを日本の小中学校に合わせた形で紹介したものです。さらに学びを深めたい方は、これらのリソースもぜひご覧ください。

## Everyone Can Create

Everyone Can Createはアイデアを生み出し、伝えるスキルを身につけるためのプログラムです。ビデオ、写真、音楽、スケッチという表現手段をあらゆる教科に取り入れられるよう、4つのプロジェクトガイドと、2つの教師用ガイドを無料で提供しています。創造的な授業が、生徒の才能を引き出し、学びに夢中になるきっかけとなり、知識や技能の向上につながることは、調査研究によって示唆されています。これらのガイドを参考にしながら、授業をより魅力的なものに進化させ、クリエイティブなアクティビティを毎日の授業に取り入れる方法を身につけましょう。

[さらに詳しく >](#)



## Apple Teacher

Apple Teacherは、毎日の授業や自身のスキルアップにApple製品を取り入れている教師のみなさんをサポートし、その成果をたたえるための無料のプロフェッショナルラーニングプログラムです。iPadやApple製アプリの使い方、授業のアイデアや実践例など、教師のみなさんに役立つリソースが数多く用意されています。プログラムに登録したメンバーには、Appleと教育に関するお知らせなどをメールで定期的にお届けします。

[さらに詳しく >](#)

